



令和7年度 和歌山市立藤戸台小学校 学校運営計画書(スクールプラン)

校長 辻本和孝 令和7年4月1日作成

和歌山市学校教育方針

- 確かな学力の育成 ○道徳教育の充実
- 健やかな体の育成
- 特別支援教育の推進
- 不登校・いじめ問題の解消
- 子どもの安全確保の徹底
- 地域と共にある学校づくりの推進

保護者・地域の願い

- 子供達の学力が向上してほしい
- いじめのない楽しい学校・学級づくりに取り組んでほしい
- 誰にでも挨拶ができる子になってほしい
- 学校の様子をもう少し分かりやすく伝えてほしい

【学 校 教 育 目 標】

自分の成長を感じる子供の育成
～豊かな心・確かな学力・健やかな体の育成～

【研究主題】

「『知りたい』『聴きたい』『話したい』」主体的に取り組む子の育成～子供の姿からの授業づくり～

【目指す子供の姿】

- ☆学ぶ楽しさを感じ、学びをひろげていく子供
- ☆豊かな心を持ち、感性を磨いていく子供
- ☆持てる力を発揮し、何事にも挑戦する子供

前年度の学校評価

- 自主的な学習習慣の定着をお願いしたい
- 今後もいじめを許さない学級・学校づくりに努めていただきたい
- 学力向上とともに体力づくりにも取り組んでほしい
- 和歌山大学との交流を積極的にしてほしい

児童の実態

- 学校が楽しいと思っている子供が多い
- 友達と仲良くできている子供が多い
- 毎日の勉強が分っている子供が多い
- 掃除を一生懸命にできている子供が多い
- 挨拶ができている子は約77%である

重点目標

確かな学力の向上

- ◎主体的・協働的に学ぶ授業
- ◎探究的・問題解決的な学習
- ◎基礎基本の確かな学力の定着
- ◎家庭学習の定着・読書の推進

豊かな心の育成

- ◎道徳教育・人権教育の充実
- ◎いじめの未然防止、早期発見・解決
- 一人一人を大切にする学級づくり・仲間づくり

健やかな体の育成

- ◎体力向上の推進
- ◎基本的生活習慣の確立
- ◎防災・安全教育の充実
- 「食」に関する教育の充実

地域とともにある学校

- ◎保護者・地域との連携充実
- ◎地域教材・地域の人材の更なる活用
- 保幼小の接続、小小・小中の連携

具体的な取組

- 「和歌山の授業づくり基礎・基本3か条」に沿った授業を行う
- 総合的な学習の時間・生活科の授業を充実させる
- 研究発表会を実施する
- 基礎・基本を定着させるよう、学年に応じた家庭学習と自主学習「希望のしるし」を実施する
- 学校図書司書や図書委員会と連携し、読み聞かせ・うちどく等の取組を充実させる

- 多面的に考えたり議論したりする等道徳科の授業を充実させる
- 情報モラルやネット社会に潜む危険性について、児童と保護者がともに学ぶ機会をもつ
- いじめアンケートを学期に1回実施し、いじめの早期発見・未然防止・早期対応に努める
- 話し合い活動・体験活動を通して友達と学び合うことの楽しさを実感させる

- スポーツテストの課題を踏まえ、体育の授業を充実させ体力の向上を図る
- 「早寝・早起き・朝ごはん・挨拶」を推奨し、生活習慣の確立に努める
- 避難訓練や交通安全教室を計画的に行い、危機回避能力を育成する
- キッズ・サポートを実施する
- 栄養教諭と連携した食育指導の充実を図る

- コミュニティスクールを活用し、児童が地域の方々と交流する機会を設け、地域を誇る児童を育てる
- 児童の学習や行事の様子をホームページや学校便り、校門掲示板等を活用し、随時最新の情報を紹介するよう努める
- 地域にある和歌山大学との交流・連携を進める

指標

- ・全国学調、県学習到達度調査で正答率が全国や県平均を上回る
- ・基礎学力の定着に係る評価(90%)
- ・わかりやすい授業、子供主体の授業の実践(児童・保護者90%)

- ・学校が楽しいと感じる(95%)
- ・情報モラルに関する研修が実施できたか
- ・いじめをなくす学校・学級づくりに係る取組(90%)
- ・いじめの解消率(100%)

- ・早寝・早起き・朝ごはんの実行(児童質問調査90%)
- ・挨拶ができる(児童80%)
- ・安全確保・健康管理(保護者90%)
- ・キッズ・サポートの実施
- ・栄養教諭による食に関する指導訪問の実施

- ・教育活動の伝達(保護者85%)
- ・家庭・地域との連携・協力(保護者85%)
- ・ホームページの更新を年間35回以上行う
- ・和歌山大学の見学や教育ボランティア・教育実習の受け入れができたか

◎：特に重点的に取り組むこと